

HAT CROSS VOL.09

神戸赤十字病院 広報誌 2024.5 <https://www.kobe.jrc.or.jp>

神戸赤十字病院のことをもっと知ってほしい一冊。



診療科
クローズアップ

心臓血管外科

チームワークで 患者さんに寄り添う



診療科クローズアップ
心臓血管外科

皆様 こんにちは
神戸赤十字病院・兵庫県災害医療センター 心臓血管外科です。

2003年8月1日に新病院開院の際に誕生しました心臓血管外科ですが、2023年の12月31日までの20年間の手術総数は3925例に達しまして、この中で心臓や大動脈の手術数は3286例になりました。

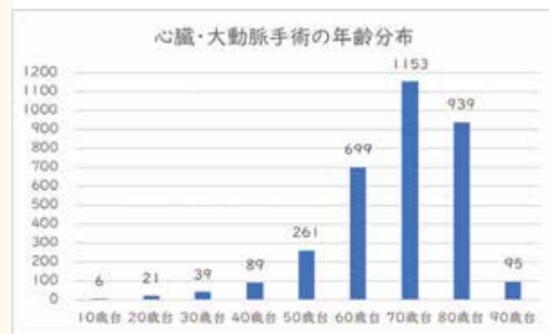
第1例目は2003年8月11日に、中央区にお住まいの70歳代の患者様で、不安定狭心症に対しまして冠動脈バイパス手術を行いました。まささらな手術室で第一例を執刀し、術後は新しいICUの第一例として入室しました。順調に経過されて無事、歩いて自宅に退院されたときは皆でお祝いました。2004年の元旦には急性A型大動脈解離の緊急手術を連続で2例行うなど、開院以来、狭心症や急



性大動脈解離の患者様がたくさんお見えになり、緊急手術を多く行ってまいりました。その後も、当院の特徴である24時間いつでも手術に対応する心臓外科として現在まで、最前線にたつて手術治療を行っています。



現在は、当科で行う心臓・大動脈手術の3分の2の症例が冠動脈バイパス術、弁置換術、弁形成術、大動脈瘤に対する手術などの定期手術の症例です。また開院当初より高齢者に対する大動脈瘤手術や大動脈弁置換手術などたくさん経験しておりまして、90歳以上の超高齢者への心臓手術は100例近く(95例)になりました。



築部 卓郎 医師

神戸赤十字病院にお世話になって、20年になります。「24時間いつでも最良の心臓血管外科手術を提供いたします」をモットーにしています。手術に関することは気軽に相談ください。

泉 聡 医師

大動脈解離の緊急手術から小開胸の僧帽弁形成術といった低侵襲手術に至るまで幅広い心臓血管外科手術に対応しますので、地域の皆様よろしくお願ひします。

菅野 令子 医師

患者様が少しでも心穏やかにになれるよう、丁寧で的確な診察を心がけています。微力ではありますが、皆様のお役に立てるよう今後とも尽力して参ります。

唐木 順 医師

平成28年に神戸大学を卒業後、令和5年4月に心臓血管外科に着任しました。病氣や治療への不安や疑問を少しでも解消できるよう、丁寧な診察を心がけてまいります。気軽に何でもご相談ください。

一方で、3分の1は緊急手術の症例です。併設されています兵庫県災害医療センターは、日本を代表する高度救命救急センターですので、搬送される重症患者の中には、心臓や大動脈の緊急手術を必要とする患者様が多くおられことが最大の理由です。外傷性の心損傷や大動脈損傷、院外心肺停止を伴う状態や、脳血流が不足して意識がない状態の急性大動脈解離症例など、開院以来、協力して患者様の救命に当たってきました。今まではあきらめていた症例もたくさん救命し、それらをまとめた学術論文が国際的に高く評価され、日本だけでなく、米国や欧州の治療ガイドラインに多数引用されていることは、チーム医療の成果であるとともに、新しいエビデンスをHAT神戸から世界へ発信できたことで、より多くの患者様の健康に寄与できていることを皆で喜んでいます。

冠動脈疾患に対するオフポンプCABG、急性大動脈解離や弓部大動脈瘤などの大動脈疾患に対する手術やステントグラフト挿入術などは県内広くからたくさんのご紹介を頂き、最も手術症例数があり得意としている部分ですが、最近では特に心臓弁(弁膜症)の最新治療に取り組んでいます。その一つは大動脈基部病変に対しまして自己弁温存大動脈基部再建術です。一般的に、大動脈弁では人工弁を用いた大動脈基部置換術が行われることが多いですが、70歳以下の患者様ではできるだけご自身の弁を残した手術を行っています。2つ目は僧帽弁閉鎖不全症に対する僧帽弁形成術です。特に、右胸部に小さな傷だけで行う胸腔鏡助下

の僧帽弁形成術(MICS-MVP)に力を入れています。美容的な面だけではなく、回復も早く若い患者様には特におすすめの治療です。

開院して20年間経過しましたが、その間の心臓血管外科領域の進歩も目覚ましいですが、当科でも最先端の治療を取り入れ、日々の治療にあたっています。さらに、若手心臓外科医の育成にも特に力をいれています。一人前の心臓外科医になるには、長い年月と厳しい仕事環境が課されると思われがちですが、「認知的徒弟制」という新しいフレームワークを用い、一つの経験からたくさん学ぶ力を育成することで多くの優秀な心臓外科医を育てようとしています。

現在の神戸赤十字病院・兵庫県災害医療センターの心臓血管外科のスタッフは、築部卓郎(つくべたくろう: 部長兼副院長)、泉聡(いずみそう: 副部長)、菅野令子(かんのれいこ: 卒後8年目)、唐木順(からきじゅん: 卒後8年目)の4人体制です。「医の倫理と人道博愛の赤十字精神に基づき皆さんの健康に奉仕します」という病院の理念に沿って、いつでもフットワーク軽く、患者さん第一に、頑張りますので、これからもよろしくお願ひいたします。



MICS(ミックス)手術
創が小さく痛みの軽い心臓手術、胸を開けない心臓手術

通常の開心術(胸骨正中切開)

MICS(ミックス)手術

僧帽弁閉鎖不全症に対する僧帽弁形成術
長さ3.5cmの皮膚切開

令和6年能登半島地震における救護活動について



1月1日16時10分、石川県能登半島地方を震源に最大震度7の地震が発生しました。能登半島地方は家屋倒壊や断水などによるライフラインの断絶で甚大な被害を受け、約400か所で避難所が開設され、3万人を超える住民が避難所生活を送る状況となりました。神戸赤十字病院は、1月10日から輪島地域へ救護班及び災害コーディネートチームを派遣致しました。

救護班メンバーは、医師1名・看護師3名（師長を含む）・主事4～5名です。主事は、コメディカル・事務職員や支部職員が担っています。今回の救護班主事メンバーには、検査技師が必ず同行していました。検査技師が同行することで、簡易検査(COVID-19、インフルエンザ)を確実に実施することができました。



救護班1班の出発式

救護班リーダーの医師は、「神戸赤十字病院の職員として、また阪神淡路大震災を経験した神戸市民として救護活動を行い、無事に帰還します」と挨拶され、目的地に向かいました。



救護活動は、輪島市内のクリニック医療状況アセスメント、避難所の診療を行いました。避難所にいる方々は、長時間布団で寝て動くことが少ないため、小学校の先生にお願いしてラジオ体操を全館放送して頂きました。避難所の方々が、放送を聞いて進んでラジオ体操をしてくださいました。

救護活動後は、「道の駅 輪島」で、他府県の赤十字病院が集まって、活動報告と翌日の活動についてのミーティングを行いました。



赤十字こころのケア活動状況

輪島市役所内に設置された「こころのほっとルーム」です。今回は支援者支援というミッションで避難者を支える市役所職員のこころのケアを行いました。



国土地理院ウェブサイトを加工して作成



金沢市内から輪島市へは、通常2時間弱で行けますが、写真のような道路状況、土砂崩れや雪の影響もあり、輪島市へは6時間の道のりでした。朝5:30に金沢市を出発し、12:00頃に輪島市役所に到着して、昼から救護活動を開始しました。



当院職員と患者さんから能登半島被災者へ向けてメッセージ旗を届けました



神戸赤十字病院救護班の活動は兵庫県内の他赤十字病院と交代で、1班の1月10日から11班の3月2日まで行われました。



Recipe 栄養課レシピ 栄養課長 駒田 裕子

にんじんの旬は春と冬の2回旬があります。収穫は4～7月の春にんじんと、11～2月の冬人参です。旬のにんじんは甘味が強くβ-カロテンも豊富に含まれているのが特徴です。その春にんじんを使った常備菜をオープンサンドにアレンジしたレシピをご紹介します。



春にんじんでつくる「キャロットラペのオープンサンド」

材料(一人分)	・ソフトフランスパン	30g×2切れ
	・[キャロットラペ]	
	春にんじん	100g
	塩	0.1g
	リンゴ酢	15g
	オリーブ油	45g
	砂糖	3g
	粒マスタード	5g
	乾燥パセリ	0.01g
	・カッテージチーズ	60g
・セルフィーユ	適宜	

栄養成分	エネルギー	688kcal
	蛋白質	14.7g
	脂質	49.5g
	炭水化物	46.9g
	食物繊維総量	5.4g
	食塩相当量	1.9g
	βカロテン	749μg
	ビタミンK	32.4mg

作り方

- ① Aを混ぜ合わせ、にんじんはスライサーでせん切りにし、塩をまぶして10分間おく。
- ② フランスパンにカッテージチーズをのせ、上に①をのせ、セルフィーユを添える。

Point ーポイント

キャロットラペのにんじんは包丁で千切りにしてもいいですが、スライサーを使うと断面が荒くなり味が染み込みやすくなります。多めに作って常備菜にし、もちろんそのままでも美味しいですがクミンなど入れて味に変化をつけるのもおすすめです。

栄養メモ

β-カロテンは皮膚や粘膜を丈夫にしたり、免疫力の強化、抗酸化作用など、健康を保つために重要な働きをする栄養素です。さらににんじんに多く含まれるβ-カロテンやビタミンKは脂溶性ビタミンのためオリーブオイルなどの油と一緒に摂ると栄養素の吸収も促されます。

お薬四方山話

薬剤師 柴野 真帆子 MAHOKO SHIBANO

肺炎を予防しよう

「お薬」にまつわる、いろいろなお話。雑学だったり、知識だったり、おしゃべりするように、お楽しみください。

肺炎は年齢が上がるごとにかかりやすくなり、重症化のリスクも高まります。肺炎による死者の97.9%以上は65歳以上です(厚生労働省、人口動態統計(確定数)2021年より)。このため65歳を過ぎたら肺炎予防が必要です。

肺炎の原因菌として一番多いのが肺炎球菌です。

予防するには感染対策とワクチン接種が有効です。65歳以上の方は「成人用肺炎球菌ワクチン」の接種が推奨されており、ニューモバックスNP、プレバナー13水性懸濁注、バクニューバンス水性懸濁注の3種類あります。

ニューモバックスNP

- ・肺炎球菌には90種類以上の血清型があり、そのうちの23種類の血清型を予防の対象としている
- ・定期接種(公費負担)と任意接種(自費)
- ・接種後5年以上の間隔をおいて再接種が可能

プレバナー13水性懸濁注

- ・13種類の血清型を予防の対象としている
- ・任意接種(自費)
- ・単回接種
- ・15種類の血清型を予防の対象としている

バクニューバンス水性懸濁注

- ・任意接種(自費)
- ・単回接種
- ・バクニューバンス水性懸濁注はプレバナー13水性懸濁注が予防の対象としている13種類の血清型に加えて2種類の血清型を予防の対象としています。



接種間隔や接種回数はワクチンによって異なりますので、詳しくはご相談ください。これからの健康づくりの参考にしてください。

「当院は、認知症「神戸モデル」実施医療機関です」

当院は、認知症専門外来は設置していませんが、認知症『神戸モデル』の第一段階、第二段階実施医療機関として認知症の診断にあたっております。認知症が疑われる方や不安を持っている方など、まずは第一段階から気軽に受

診いただければと思いますのでご紹介ください。また診断だけでなく、認知症をもつ方々のサポートを目指していきたいと考え、認知症看護認定看護師を中心に地域連携を図っております。よろしくお願いたします。



ハートラちゃん

病院のお仕事紹介

-リハビリテーション編-



こんにちは。今日は神戸日赤のリハビリテーション科部にきたよ。

ハートラちゃんこんにちは。リハビリテーション科部へようこそ。今日はよろしくお願いします。



リハビリテーション科部はどんなお仕事をしていますのですか？

怪我や病気になったり、手術をした後で動けなくなったことで自宅など元々いた場所に帰って生活ができない人に対して、また同じような生活ができるように手助けをする仕事だよ。



具体的な仕事内容はどんなものがありますか？

リハビリテーションは細かく分けると「理学療法士」と「作業療法士」と「言語療法士」の3つがあるんだ。それぞれ理学療法士は歩行など移動手段の獲得を、作業療法士は両手を使った細かい動きの練習を、言語療法士はご飯をむせなく食べたり上手く使えるコミュニケーション手段の獲得を行っているんだ。



わあ、いろいろあるんだね。リハビリは大変そうだよ。

何よりもその人が頑張る気持ちが大切だからね。私たちは患者さん一人一人と向き合って一緒に頑張っていくよ。ハートラちゃんももしリハビリを受け



る事になったら私たちと一緒に頑張ろうね。

ひとことインタビュー

第一線で仕事を続けるためにここがけていることはありますか？

副院長 土井 智文

私は、医師となり38年が過ぎました。私のように急性期病院の現場にて循環器内科としての勤務医は珍しいかもしれませんが、ここ31年間はほぼ同じ医療圏で仕事をしており、阪神淡路大震災前から三代にわたって診療させていただいている家族性高脂血症の患者さんもいらっしゃいます。臨床の実践こそが私の使命だとの思いから大変多くの患者さんを担当させていただいており、すべての患者さんから学ばせていただいております。

主に個々に実現をしてきた患者さんに寄り添う医療からチームで寄り添う医療、診療科ごとで寄り添う医療、ひいては病院全体として寄り添う医療を実現していただいております。コミュニケーション良く、地域に貢献していきたいと思っております。



編集後記

診療科クローズアップの心臓血管外科の先生方について少しお話しします。先生方は予定手術を行いながら緊急手術も断らずに受け入れて、夜中であっても嫌な顔一つせず手術をされています。その無尽蔵な体力と集中力、また目の前の一人一人の命を救うという志！…頭が下がる思いです。これからも赤十字病院をもっと知ってもらえる広報誌を目指して頑張りますので、次号も楽しみにお待ちください。

(整形外科副部長 森田卓也)



		月	火	水	木	金	
診療受付 1	整形外科 リハビリ テーション科	午前	伊藤 康夫	戸田 一潔	伊藤 康夫	戸田 一潔	中後 貴江
			大森 貴夫	瀧川 朋亨	中後 貴江	大森 貴夫	瀧川 朋亨
			森田 卓也	松橋 美波	多田 圭太郎	森田 卓也	梶木 裕矢
			杉本 幸輝	國富 康資	梶木 裕矢	松橋 美波	嶺尾 亮和
	脳神経外科	午前	担当医	山下 晴央	原 淑恵	山下 晴央	松尾 和哉
	脳神経内科	午前	渡部 俊介 (1,2,3,5週)	/	本岡 里英子	本岡 里英子	/
			関口 兼司 (再診) 4週	/	/	/	/
	心臓血管外科	午前	築部 卓郎 (初診予約)	築部 卓郎	/	泉 聡	菅野 令子 (1,3,5週)
			/	/	/	/	唐木 順 (2,4週)
	循環器内科	午前	土井 智文	土井 智文	五十嵐 宣明	村田 武臣	村田 武臣
佐藤 淳哉			村田 武臣	横田 駿	矢富 敦亮	政野 智也	
田原 奈津子			七條 直人	/	/	田原 奈津子	
未廣 英也			/	/	/	/	
午後		矢富 敦亮	徳田 拓人	佐藤 淳哉	デバイス外来	大竹 伸明	
		/	/	北村 雅和	荒木 一貴	/	
内科 (総合)	午前	山本 貴央	七條 直人	土井 智文	中村 駿介	城 貴裕	
		(未廣 英也)	(川島 邦博)	朝原 ひかり	(白坂 大輔)	(黒田 浩平)	
		(杉本 啓介)	/	/	/	/	
		佐藤 淳哉	恵良 有紀子	横山 祐二 (予約のみ)	/	/	
内科	午後	/	/	寺田 菜々子 (腎臓内科)	/	/	
		/	/	/	森本 太郎 (1,3週)	/	
内科 (糖尿病代謝)	午前	/	川島 邦博	川島 邦博	/	川島 邦博	
		午後	/	宮崎 裕也	/	/	
診療受付 2	消化器内科	午前	池川 卓哉	白坂 大輔	黒田 浩平	白坂 大輔	黒田 浩平
			山本 貴央	恵良 有紀子	朝原 ひかり	恵良 有紀子	池川 卓哉
			西尾 美名	海陸 吉貴	工藤 真人	中村 駿介	城 貴裕
			堀 開仁	高田 慶	森田 真代	/	藤井 正俊
		午後	/	長野 秀信 (再診)	藤井 正俊	/	/
			/	白坂 大輔 (予約制)	/	白坂 大輔 (予約制)	/
	外科	午前	石堂 展宏	門脇 嘉彦	河本 慧	石堂 展宏	門脇 嘉彦
			大久保 悠祐	久保田 哲史	大久保 悠祐	久保田 哲史	河本 慧
	午後	/	/	/	/	担当医 (予約制)	
		杉本 啓介	杉本 啓介	松本 千晶	杉本 啓介	田中 隆一郎	
呼吸器内科	午前	山岡 貴志	/	上田 裕介	/	松本 千晶	
		午後	/	二宮 貴一郎	/	野海 拓	
呼吸器外科	午前	北村 嘉隆	/	北村 嘉隆	/	/	
		午後	/	/	北村 嘉隆	/	
心療内科	午前	村上 典子	黒田 綾	村上 典子	黒田 綾	村上 典子	
		午後	/	村上 典子 (初診予約)	/	村上 典子 (初診予約)	
診療受付 3	形成外科	午前	伊藤 典紘	西尾 優志	西尾 優志	/	草壁 優
			/	草壁 優	伊藤 典紘	/	/
	麻酔科	午前	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医
			林 仁	後藤 拓磨	後藤 拓磨	林 仁	林 仁
眼科	午前	守屋 育美	守屋 育美	担当医	後藤 拓磨	守屋 育美	
		午後	五島 雄一郎 (再診予約) 1,3,5週	/	/	/	/
診療受付 4	皮膚科	午前	福永 淳	/	/	原田 朋佳	/
			/	山元 奈穂 (2,4週)	/	/	/
	乳腺外科	午前	木下 佳久	木下 佳久 (再診予約)	松井 隆	戸邊 泰将	木下 佳久
			午後	/	/	/	守殿 貞夫 (予約制)
	泌尿器科	午前	/	/	/	戸邊 泰将	/
			午後	/	/	/	/
耳鼻科	午前	福田 有里子	/	/	三根 美穂子	福田 有里子	
		佐藤 朝臣	小島 洋二郎	小島 洋二郎	山中 良彦	佐藤 朝臣	
婦人科	午前	山中 良彦	/	田中 美喜歩	/	田中 美喜歩	
		担当医 (再診)	/	森 岳樹	松永 直樹	木下 めぐ美	
放射線科	午前	担当医 (初診)	/	/	/	/	
		午後	/	原田 文 (治療初・再診)	/	/	

診療受付時間 午前8:30~午前11:30 午後1:00~午後3:00 ※急患はこの限りではありません

基本理念

わたしたちは、医の倫理と人道・博愛の赤十字精神に基づき、皆さんの健康に奉仕いたします。

基本方針

患者さんの人権と意思を尊重し、根拠に基づいた、安心と満足が得られる医療を提供します。

地域医療支援病院として地域の医療機関と連携して、「地域完結型医療」の構築を目指します。

救急医療、災害救護・国際救援活動を行います。

将来を担う人材確保のため、医療従事者の育成に努めます。

日々研修・研鑽し、明るく活力のある職場づくりに努め、地域から選ばれる病院、職員が働いて良かったと思う病院を目指します。

医療活動を通じた社会貢献の継続のため、健全な病院経営に努めます。

